

# MWS Cup 2017 事前課題

2017年9月11日(月) 出題

## 【課題目的】

本事前課題は、今後のMWSコミュニティにとって有意義となるデータセットやツール等について、各参加チームの自由な発想の下で検討を行ってもらい、なおかつ実際に共有可能な役に立つ“何か”を生み出すことを目的とした課題です。

## 【課題内容】

本事前課題は自由課題であり、必須事項は以下の2点のみです。

1. サイバーセキュリティに関する研究開発/実務など (≒ MWSコミュニティ) において、有意義 (必要/欲しい/etc.) だと思うものを自由に考えること。
2. 1の検討に関してMWSコミュニティで共有できる成果物を生み出すこと。

## 【回答方法】

回答では以下の3つの作業を行ってください。

[Googleフォームへの回答締切は10/13\(金\) 17時\(JST\)](#)とします。

1. 以下のGoogleフォームの設問に答えること  
<https://drive.google.com/open?id=1BCjeL8eJKhxU0FtT5FSNnRNudMnfv-ctkTLxZXmrzxo>
2. 成果物を公開/提出すること
  - Githubやブログなどインターネット上に、誰からでもアクセス可能な状態で公開してください。オープンソースライセンスでの公開を必須としますが、具体的なライセンス種類(GPL, MIT, BSD等)については作成者の判断にお任せしますので明記しておいてください。
  - Googleフォームの設問で公開したURLを記載してください。
3. プレゼン資料を作成すること (※発表はMWS Cup当日の午後です)
  - 今年度のMWS Cupのプレゼンセッションでは事前課題の成果物についてのみを対象に発表してもらいます。 本資料の事前提出は必要ありません。

## 【配点】

事前課題の配点はMWS Cup全点数の25%を上限とします。

## 【評価基準】

事前課題はMWS Cup課題作成者一同およびプレゼンセッションの審査員によって評価されます。評価は、新規性・実用性・有効性の観点から評価されます。

## 【補足】

### Q：自由って言われてもどうしたら良いのかわからない

A：自分がサイバーセキュリティの研究開発や実務を行う上で、欲しいけど世の中に無い/あったら面白い/もっと改良したいなどと思うようなものを考えてください。そしてそれを実現するための何かを生み出してください。

簡単に言うと、何か考えて作ってそれを「良いね！」と言わせたもの勝ちです。

### Q：“何かを生み出す”って？

A：例えば「こういうデータが研究では重要なので新たなデータセットを作成する」「マルウェアを解析するために便利なツールを作成する」「既存の〇〇はここが使いづらいので改良する」など、成果物はデータでもプログラムでも良いです。

ただし文章(論文など)のみを成果物として提出するのはNGとします。

### Q：いくつも提出して良いの？

A：基本的に1つのテーマに関するものだけを提出(回答)してください。同一のテーマ内であれば、例えば「データ収集のためのプログラム」と「それを使って集めたデータセット」のように複数の提出は歓迎します。

### Q：提出したものはどうなるの？

A：MWSコミュニティへ共有します。具体的には来年度以降のデータセットに含めて配布することを予定していますので、その点についてご了承ください。

### Q：評価基準についてももう少し説明してください。

A：「新規性」は成果物が“今までに無い新しいもの”かどうかを評価します。簡単に言うと評価者に驚きを与えるほど高得点になります。例えば、既存の公開されている悪性URLのブラックリストをそのまま提出した場合、もちろん評価されません。ただし、既に存在するものであっても、そこに何かしらの改善が加えられてあり、その良さをきちんと示せるのであれば評価されます。

「実用性」は成果物が“共有して利用する価値がある”かどうかを評価します。簡単に言うと評価者が使いたい！と思うほど高得点になります。例えば、皆さんの独自開発のシステム(非公開)の拡張機能部分だけを共有されてもそれを使いたいと思う人は居ないでしょう。汎用性や使いやすさ、世の中のニーズなども考慮したものが評価されます。

「有効性」は成果物がサイバーセキュリティに関する研究開発/実務においてどれほど役に立つかどうかを評価します。例えば、データセットであればその量やカバレッジ、ツールであれば期待した結果が得られることなどが重要です。提出の際に、有効性を示せるような評価等が添えられているとより良いです。

最後に、これらの評価基準はある程度主観的なものになってしまうのは避けられませんが、事前課題についてはCup課題作成委員一同での評価を行うことで、評価結果が特定の人間の主観に依存し過ぎないようにします。

### Q：プレゼンの時間は何分ですか？

A：参加チーム数にも依りますが、1チーム最低でも5分は確保する予定です。プレゼンの審査員は必ずしも各チームの成果物について事前に詳細に確認していない場合があるため、短い時間で効果的に上記の評価ポイントが伝わるようなプレゼンを心がけてください。